

「林業×地域」の再発見

～森林・林業を活かした地域将来ビジョンづくり～

今年度に発足したばかりの龍神 LIP は、1年生2人と3年生2人に加え、大浦ゼミ3年生からの参加者2人の、計6人で活動しています！

古くから林業が盛んな龍神村（田辺市）で、森林を活かした「地域将来ビジョン」を地域の方々と共に考え、住民の皆さんに提案していきます。

今年度は、龍神村や和歌山県のエコ林業、特産林産物について事前学習をしたうえで、実際にその現場で見学や体験を行いました。



現地学習と資源地図作成

現地学習後のワークショップでは、各メンバーが20枚程度の写真を持ち寄り、龍神村でピンときた点を話し合いました。持ち寄った写真は、1枚ずつコンセプトなどを説明しながら、意味が似ているものをグループにしていきます。そこから、グループ間の関連関係を記号にして書き出し、龍神村の魅力や課題を可視化した「資源地図」を作成しました。

資源地図のタイトルは、「龍神ブランドの確立～人々の愛と森林の恵みを受けて～」です。龍神村には、豊富な木材資源やシイタケ・榎などの特産林産物があります。しかし、それらは単なる自然の恵みではなく、そこに人の愛情やこだわりが詰まって「龍神ブランド」を形成していると、私たち LIP メンバーは感じました。



関係記号

- 関係あり
- 因果関係、手順、流れ
- ↔ 相互補強関係
- ↻ 循環
- 〰 波及

2月20日のワークショップでは、この資源地図をもとに地域の方々話し合いながら、龍神村の「地域将来ビジョン」を検討していきます。